

I 調査結果の概要

1 青果物の卸売動向（表1参照）

平成19年（1～12月）の全国の青果物卸売市場における取扱いの状況は以下のとおりとなった。

(1) 野菜

野菜の卸売数量は1,145万tで、前年に比べ2%減少した。

これは、にんじんが天候に恵まれ生育が良好であったことから入荷量が増加したものの、だいこんが夏だいこんの作付面積が減少したことや、はくさいが暖冬の影響による需要の低迷からそれぞれ減少したことなどによる。

卸売価格は1kg当たり平均185円で、前年に比べ4%低下した。

これは、にんじん、たまねぎ、ばれいしょの価格が低下したことなどによる。

卸売価額は2兆1,161億円で、前年に比べ6%減少した。

(2) 果実

果実の卸売数量は425万tで、前年に比べ5%減少した。

これは、国産果実においてりんごが9月の台風による落果被害のため入荷量が減少したことに加え、輸入果実においても、フィリピン産バナナが不作により減少したことや、アメリカ産オレンジが寒波の影響により生育不良であったことから減少したことなどによる。

卸売価格は1kg当たり平均281円で、前年に比べ4%上昇した。

これは、国産果実においてみかんの価格は低下したものの、りんご、ぶどうが入荷量が減少したことから価格が上昇したこと、輸入果実においても、バナナ、オレンジの輸入量が減少したことにより価格が上昇したことなどによる。

卸売価額は1兆1,939億円で、前年に比べ2%減少した。

表1 青果物卸売数量・価額・価格

単位 { 数量：万t
価額：億円
価格：1kg当たり円

区 分		実 数			対 前 年 比 (%)		
		平. 17	18	19	平. 17	18	19
計	卸 売 数 量	1 696	1 622	1 571	100	96	97
	卸 売 価 額	33 879	34 622	33 100	93	102	96
野 菜	卸 売 数 量	1 195	1 174	1 145	99	98	98
	卸 売 価 額	21 626	22 497	21 161	92	104	94
	卸 売 価 格	181	192	185	93	106	96
果 実	卸 売 数 量	500	448	425	101	90	95
	卸 売 価 額	12 253	12 125	11 939	94	99	98
	卸 売 価 格	245	271	281	94	111	104

図1 野菜の卸売数量と卸売価額の推移

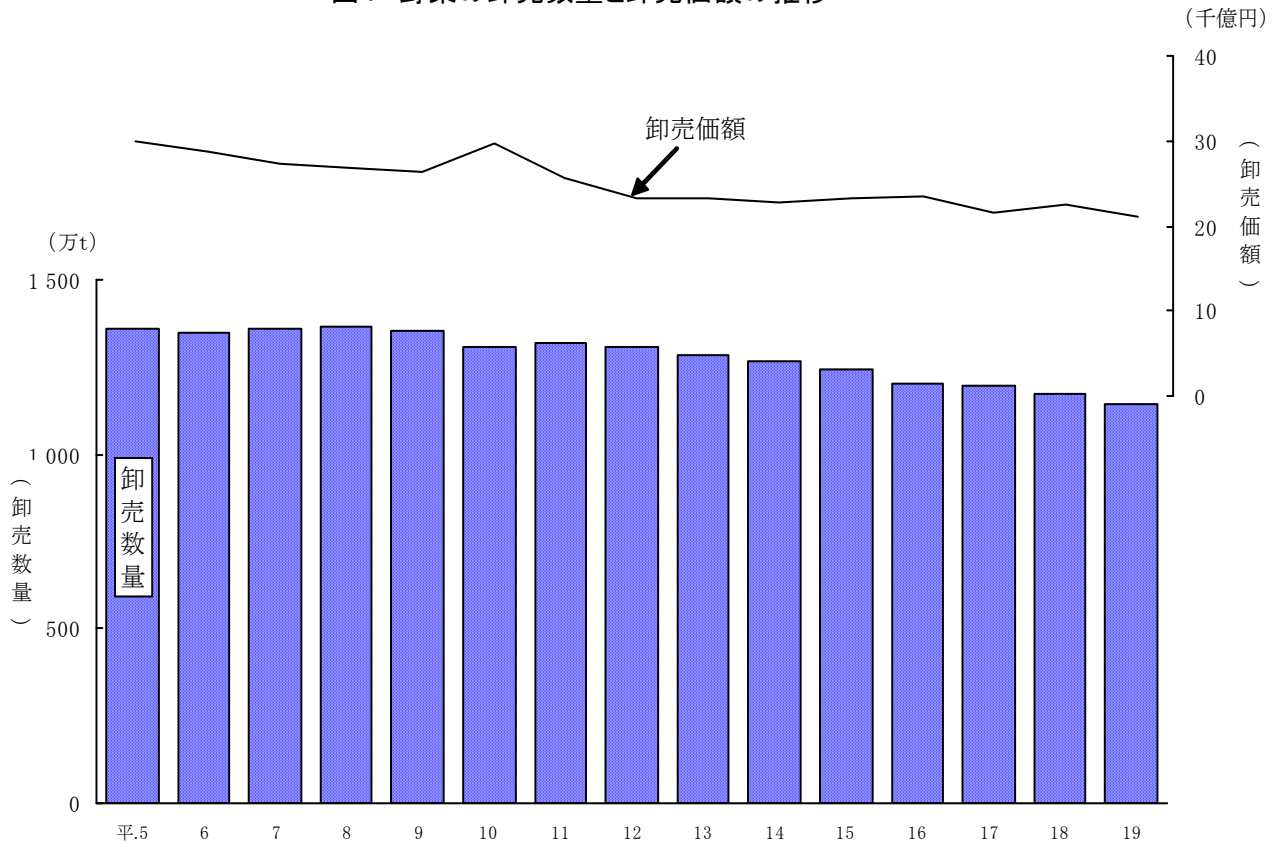
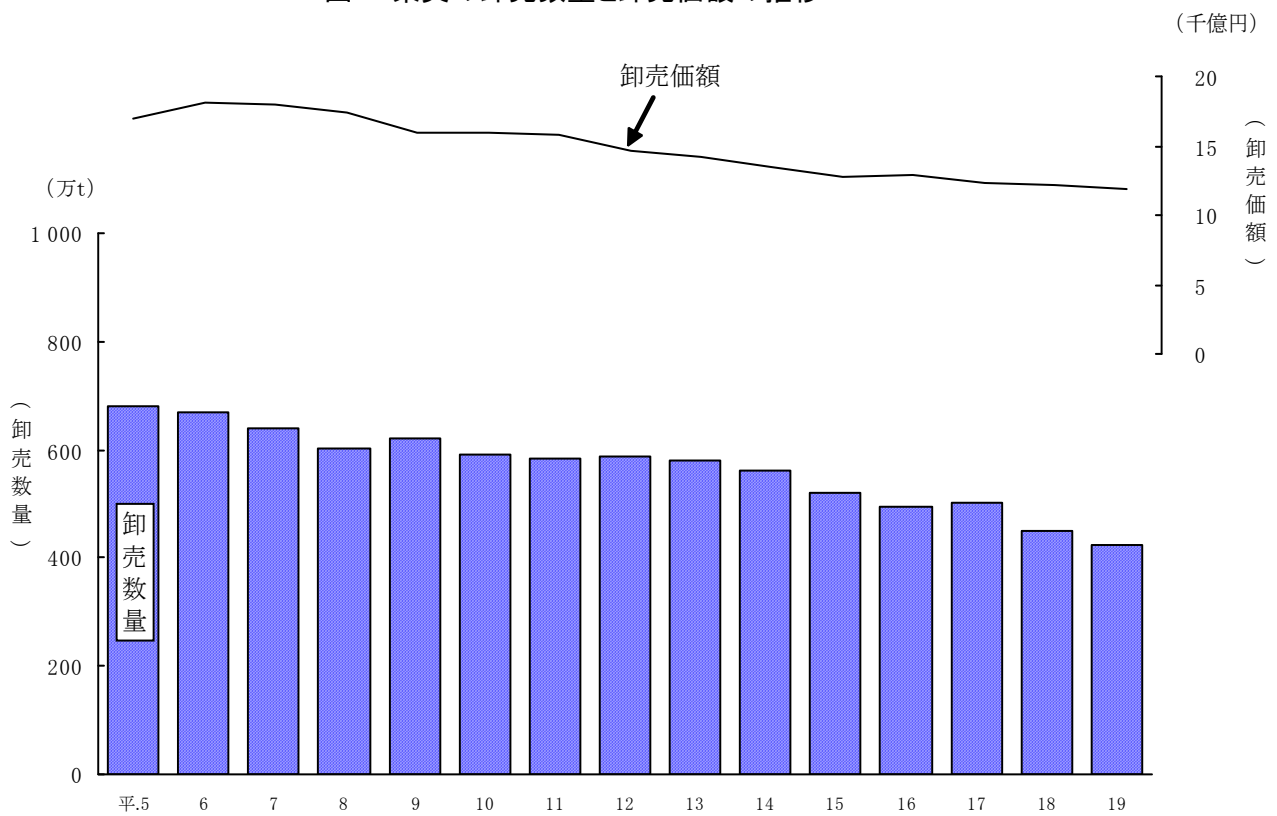


図2 果実の卸売数量と卸売価額の推移



(3) 主要都市※の市場における輸入野菜の動向（表2、3参照）

ア 卸売数量は26万tで、前年に比べ24%減少した。

これは、かぼちやの輸入量が増加したものの、たまねぎ、ブロッコリーが減少したことなどによる。

イ 輸入割合（各品目の卸売数量の総量に占める輸入の割合）の高い品目は、にんにく（56.1%）、かぼちや（42.4%）、しょうが（32.0%）、さやえんどう（30.7%）、アスパラガス（23.5%）等となっている。

※ 主要都市とは、①人口20万人以上で、かつ青果物の年間取扱量がおおむね6万t以上の都市、②県庁所在都市及び中央卸売市場が開設されている都市をいい、人口等により1類都市と2類都市に区分している。（1類都市、2類都市の基準の詳細は「利用者のために」を参照。）

なお、輸入野菜については、主要都市の市場計のみであり全国計の推定は行っていない。（以下同じ。）

表2 主な輸入野菜の卸売数量と輸入割合

単位 { 卸売数量：千t
輸入割合・対前年比：%

品 目	卸売数量						輸入割合		
	平. 17	対前年比	18	対前年比	19	対前年比	平. 17	18	19
輸 入 野 菜 計	430	112	340	79	257	76	4.9	3.9	3.0
うち、									
に ん じ ん	31	217	29	93	9	32	5.8	5.5	1.7
ご ぼ う	12	86	13	110	8	62	10.0	11.8	7.2
た け の こ	3	99	2	90	2	81	16.4	13.1	12.8
キ ャ ベ ツ	12	115	4	35	1	20	1.1	0.4	0.1
ね ぎ	30	96	27	90	18	65	10.9	10.1	6.6
アスパラガス	8	103	7	84	6	90	30.6	27.2	23.5
ブロッコリー	31	86	23	76	20	89	34.1	22.0	21.0
か ぼ ち や	105	113	85	81	91	108	45.9	42.2	42.4
ピ ー マ ン	12	108	11	89	10	95	9.1	8.5	8.0
さやいんげん	1	93	1	80	1	96	6.9	6.0	5.9
さやえんどう	11	86	7	66	3	45	57.5	46.4	30.7
さ と い も	6	104	11	188	8	75	7.1	16.0	12.8
た ま ね ぎ	97	157	60	62	34	57	10.6	6.7	3.7
に ん に く	17	99	14	84	12	85	69.1	65.0	56.1
し ょ う が	15	91	14	95	11	82	36.8	36.6	32.0
生しいたけ	14	84	10	68	6	65	27.4	20.2	14.1

ウ 国産品と輸入品の卸売価格を比較すると、国産品との価格差（国産品を100とした輸入品の価格比）が大きい品目のうち、輸入品が安い品目は、にんにく（20%）、生しいたけ（34%）、さやえんどう（36%）、さといも（41%）等となっている。

表3 主な野菜の国産品と輸入品の卸売価格

単位：1kg当たり円

品 目	平. 17			18			19		
	卸売価格		国産品を 100と した輸入品 の価格比	卸売価格		国産品を 100と した輸入品 の価格比	卸売価格		国産品を 100と した輸入品 の価格比
	国産品	輸入品		国産品	輸入品		国産品	輸入品	
			%			%			%
に ん じ ん	125	78	62	142	91	64	96	80	83
ご ぼ う	175	80	46	234	114	49	189	96	51
た け の こ	351	349	99	322	410	127	347	424	122
キ ャ ベ ツ	87	76	87	86	85	99	78	87	112
ね ぎ	312	130	42	332	143	43	326	140	43
アスパラガス	939	692	74	992	724	73	959	767	80
ブロッコリー	366	264	72	276	269	97	331	280	85
か ぼ ち ゃ	133	114	86	182	161	88	158	132	84
ピ ー マ ン	317	523	165	384	606	158	373	653	175
さやいんげん	668	583	87	718	627	87	741	644	87
さやえんどう	938	303	32	961	332	35	1 109	403	36
さ と い も	180	104	58	252	118	47	261	107	41
た ま ね ぎ	97	65	67	92	78	85	76	75	99
に ん に く	1 159	132	11	1 056	172	16	911	181	20
し ょ う が	537	255	47	566	235	42	639	284	44
生 しい た け	967	318	33	1 006	357	35	1 037	354	34

参考1 主な野菜の輸入国と輸入数量割合（平成19年計）

上段：輸入国名
下段：数量割合（%）

品 目	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
にんじん・かぶ	中 国 90.4	ニュージーランド 5.8	オーストラリア 3.1	ア メ リ カ 0.5	ト ル コ 0.1
ご ぼ う	中 国 92.4	台 湾 7.6			
キ ャ ベ ツ 他	中 国 90.5	韓 国 8.9	ベ ト ナ ム 0.5	台 湾 0.1	オーストラリア 0.1
ね ぎ	中 国 100.0				
アスパラガス	タ イ 24.7	オーストラリア 23.3	メ キ シ コ 17.3	フィリピン 15.8	ア メ リ カ 8.4
ブロッコリー	ア メ リ カ 88.7	中 国 11.3	タ イ 0.0		
か ぼ ち ゃ	ニュージーランド 70.4	メ キ シ コ 23.9	ト ン ガ 3.9	ニューカレドニア 0.9	オーストラリア 0.4
ピ ー マ ン	韓 国 66.2	ニュージーランド 17.1	オ ラ ン ダ 16.6		
ささげ・いんげん まめ属の豆	オ マ ー ン 99.9	ス ペ イ ン 0.1			
え ん ど う	中 国 88.9	ベ ト ナ ム 9.1	タ イ 2.0		
さ と い も	中 国 100.0				
た ま ね ぎ	中 国 86.7	ア メ リ カ 5.3	タ イ 3.1	ニュージーランド 3.1	オーストラリア 1.7
に ん に く	中 国 99.8	ア メ リ カ 0.1	フ ラ ン ス 0.0	台 湾 0.0	韓 国 0.0
し ょ う が	中 国 92.1	タ イ 4.7	インドネシア 3.1	ベ ト ナ ム 0.1	台 湾 0.1
し しい た け	中 国 100.0				

資料：財務省「貿易統計」

注：「ピーマン」は、厚肉大果種のものである。

2 主要品目の動向

(1) 野菜

表4 主要野菜の卸売数量

区 分	卸 売 数 量 (万 t)			対 前 年 比 (%)		
	平. 17	18	19	平. 17	18	19
野 菜 計	1 195	1 174	1 145	99	98	98
うち、						
だいこん	116	115	109	101	99	95
にんじん	71	69	72	93	97	105
はくさい	99	97	92	103	98	94
きゃべつ	138	145	141	96	106	97
ほうれんそう	18	18	16	103	101	89
ねぎ	39	37	36	98	96	98
レタス	64	64	60	105	101	93
きゅうり	61	57	57	97	93	100
なす	35	32	33	99	91	102
トマト	64	63	61	100	98	97
ピーマン	18	17	17	98	95	100
ばれいしょ	78	78	77	100	101	98
さといも	11	9	9	94	82	94
たまねぎ	120	118	120	97	99	101

注：トマトについては、ミニトマトを含む。（以下表5及び6において同じ。）

表5 主要野菜の卸売価額

区 分	卸 売 価 額 (億円)			対 前 年 比 (%)		
	平. 17	18	19	平. 17	18	19
野 菜 計	21 626	22 497	21 161	92	104	94
うち、						
だいこん	870	913	786	84	105	86
にんじん	850	944	685	102	111	73
はくさい	553	608	498	77	110	82
きゃべつ	1 170	1 229	1 076	92	105	88
ほうれんそう	740	708	669	90	96	95
ねぎ	1 090	1 121	1 103	88	103	98
レタス	959	992	1 073	82	103	108
きゅうり	1 363	1 546	1 496	90	113	97
なす	876	956	904	91	109	95
トマト	1 941	2 006	2 007	95	103	100
ピーマン	579	659	645	97	114	98
ばれいしょ	922	887	716	101	96	81
さといも	195	213	209	97	109	98
たまねぎ	1 109	1 071	904	100	97	84

表6 主要野菜の卸売価格

区 分	卸 売 価 格 (1kg当たり円)			対 前 年 比 (%)		
	平. 17	18	19	平. 17	18	19
野 菜 計	181	192	185	93	106	96
うち、						
だいこん	75	79	72	83	105	91
にんじん	120	137	95	109	114	69
はくさい	56	62	54	75	111	87
きゃべつ	85	85	76	96	100	89
ほうれんそう	407	386	409	87	95	106
ねぎ	282	302	303	91	107	100
レタス	151	154	180	78	102	117
きゅうり	222	272	264	93	123	97
なす	249	300	277	91	120	92
トマト	302	319	328	94	106	103
ピーマン	330	397	389	100	120	98
ばれいしょ	119	113	94	101	95	83
さといも	170	225	235	103	132	104
たまねぎ	93	90	75	103	97	83

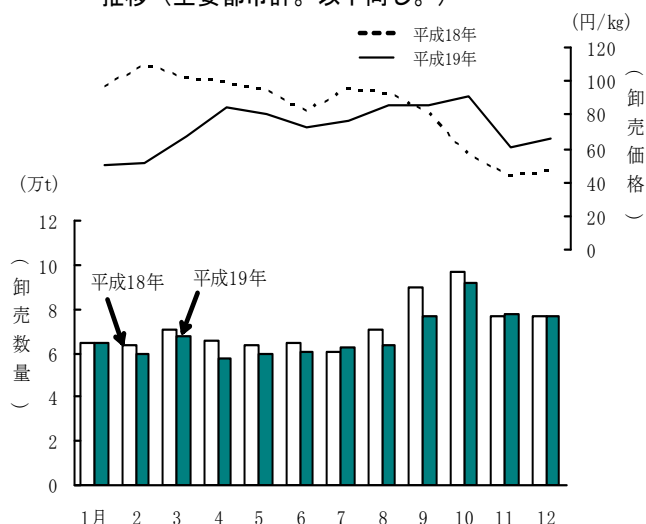
ア だいこん（表４・６、図３参照）

平成19年の全国の青果物卸売市場における（以下同じ。）卸売数量は109万 t で、前年に比べ５％減少した。

これは、夏だいこんの作付面積が減少したことから、８・９月の入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、年始めに暖冬の影響から需要が低迷し安値で推移したことから、前年に比べ９％低下し72円となった。

図３ だいこんの月別卸売数量と卸売価格の推移（主要都市計。以下同じ。）



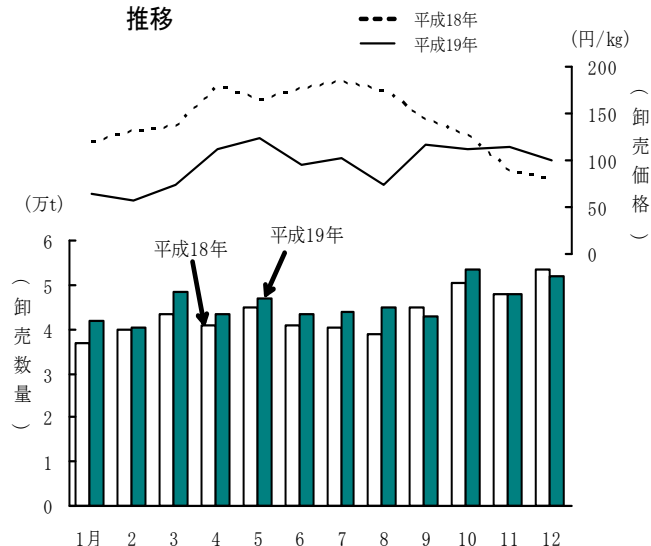
イ にんじん（表４・６、図４参照）

卸売数量は72万 t で、前年に比べ５％増加した。

これは、年間を通して天候に恵まれたことから、生育が順調で入荷が安定していたことなどによる。

卸売価格は、入荷量が増加したことなどから、前年に比べ31％低下し95円となった。

図４ にんじんの月別卸売数量と卸売価格の推移



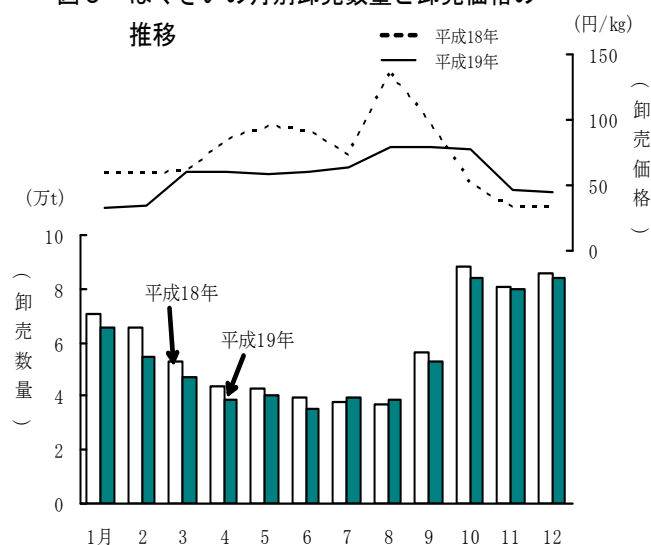
ウ はくさい（表４・６、図５参照）

卸売数量は92万 t で、前年に比べ６％減少した。

これは、年の前半に低温・少雨の影響で肥大が抑制され、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、年始めに暖冬の影響から需要が低迷し安値で推移したことから、前年に比べ13％低下し54円となった。

図５ はくさいの月別卸売数量と卸売価格の推移

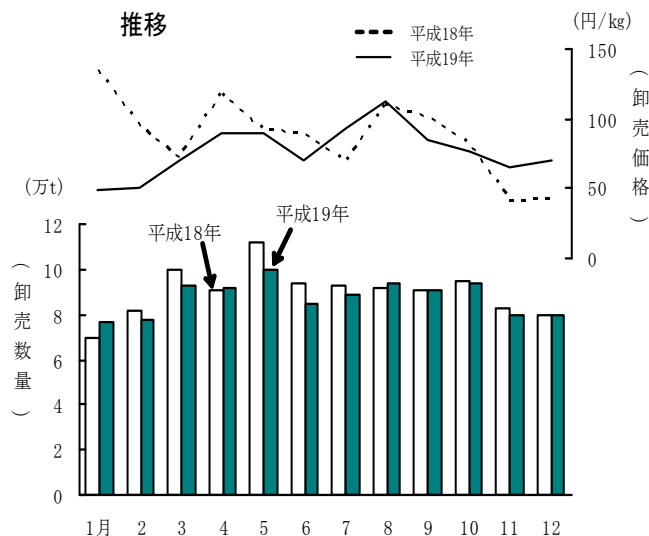


エ キャベツ（表４・６、図６参照）

卸売数量は141万 t で、前年に比べ３％減少した。

卸売価格は、１月に入荷量増加のため価格が低迷し、その後も安値で推移したことなどから、前年に比べ11％低下し76円となった。

図６ キャベツの月別卸売数量と卸売価格の推移



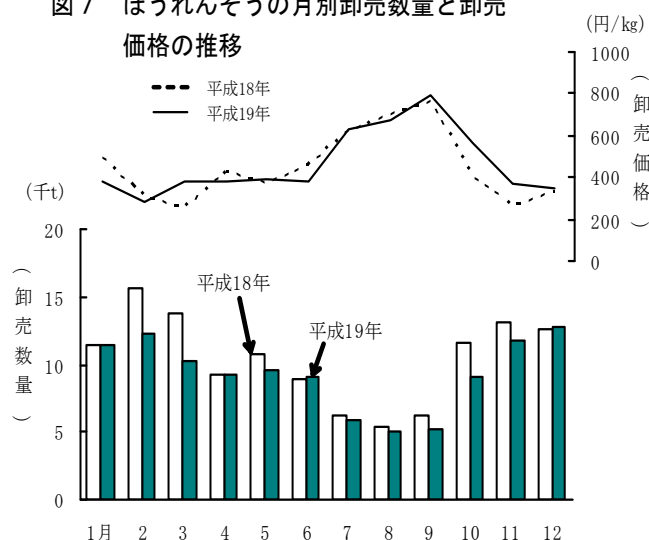
オ ほうれんそう（表４・６、図７参照）

卸売数量は16万 t で、前年に比べ11％減少した。

これは、２・３月に入荷量の多かった前年に比べ減少したこと及び８～11月に夏期の高温等の影響で生育不良となり入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、入荷量が減少したことなどから、前年に比べ６％上昇し409円となった。

図７ ほうれんそうの月別卸売数量と卸売価格の推移



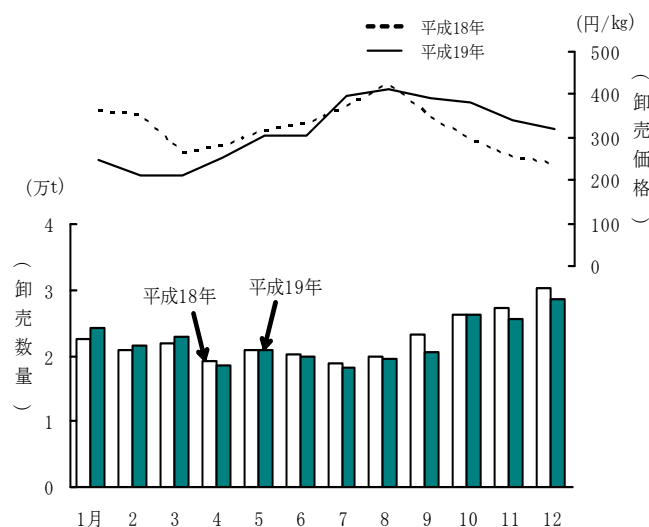
カ ねぎ（表４・６、図８参照）

卸売数量は36万 t で、前年に比べ２％減少した。

これは、中国産の輸入量が減少したことなどによる。

卸売価格は、輸入量の減少により、国産品の引き合いが高まり高値で推移したことなどから、前年並みの303円となった。

図８ ねぎの月別卸売数量と卸売価格の推移



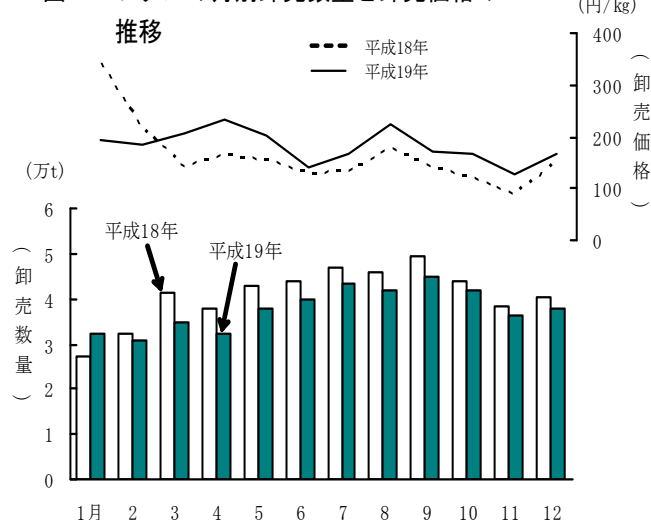
キ レタス（表４・６、図９参照）

卸売数量は60万 tで、前年に比べ7％減少した。

これは、作付面積の減少により、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、ほぼ1年間を通じて入荷量が減少したことから高値で推移し、前年に比べ17％上昇し180円となった。

図９ レタスの月別卸売数量と卸売価格の推移

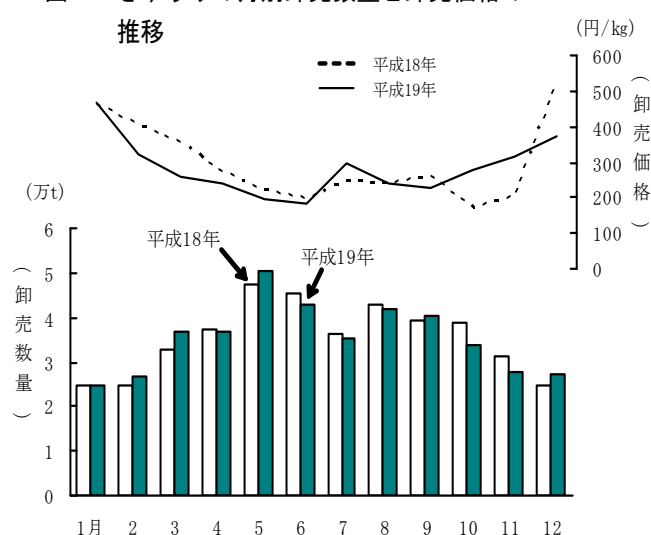


ク きゅうり（表４・６、図10参照）

卸売数量は57万 tで、前年並みとなった。

卸売価格は、2・3月及び12月に入荷量増加のため安値となったことから、前年に比べ3％低下し264円となった。

図10 きゅうりの月別卸売数量と卸売価格の推移



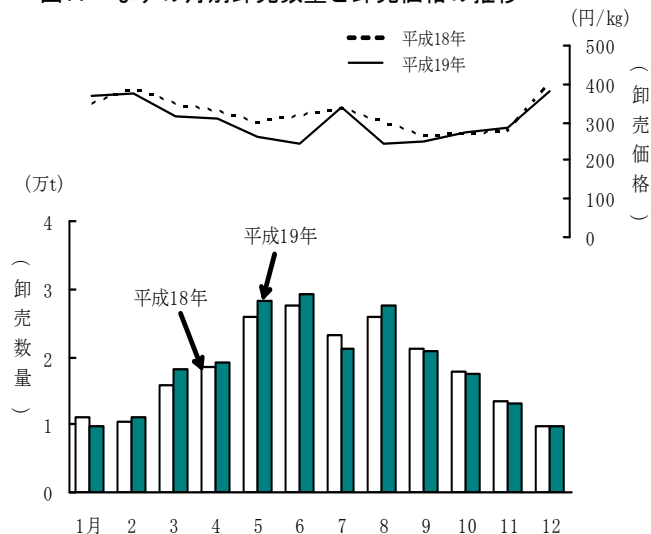
ケ なす（表４・６、図11参照）

卸売数量は33万 tで、前年に比べ2％増加した。

これは、比較的天候に恵まれ安定した入荷となったことなどによる。

卸売価格は、入荷量が増加した2～6月にかけて安値で推移したことなどから、前年に比べ8％低下し277円となった。

図11 なすの月別卸売数量と卸売価格の推移



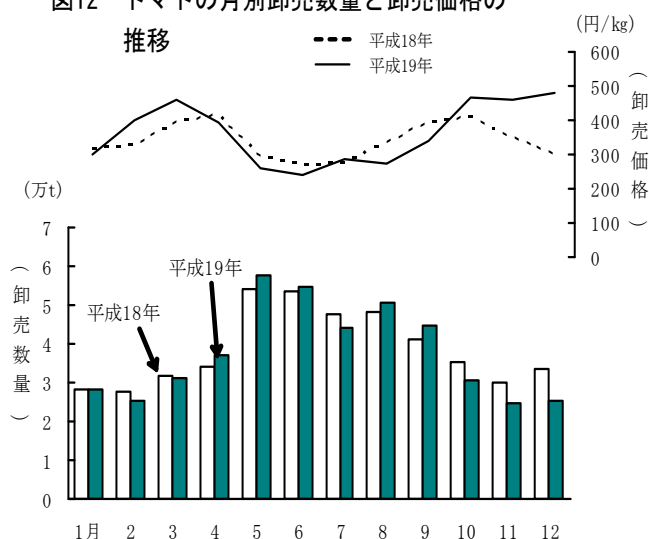
コ トマト（ミニトマトを含む。）（表４・６、図12参照）

卸売数量は61万 t で、前年に比べ 3 % 減少した。

これは、低温の影響から着色が遅れ11・12月の入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、11・12月の入荷量が減少し高値となったことから、前年に比べ 3 % 上昇し 328円となった。

図12 トマトの月別卸売数量と卸売価格の推移

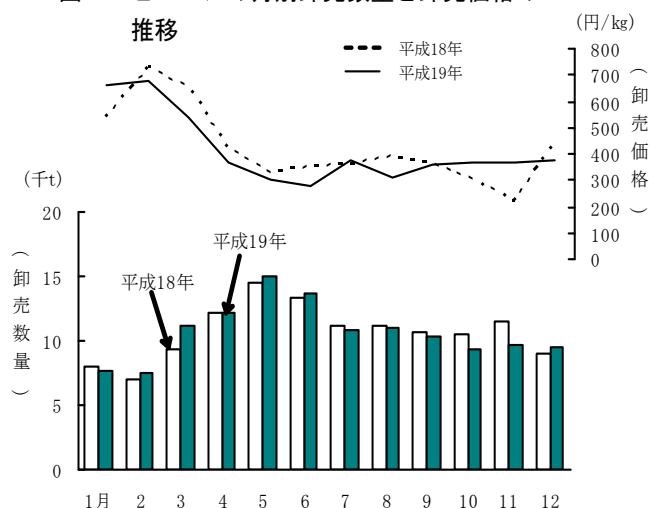


サ ピーマン（表４・６、図13参照）

卸売数量は17万 t で、前年並みとなった。

卸売価格は、比較的入荷が安定していた2～6月に安値で推移したことなどから、前年に比べ 2 % 低下し 389円となった。

図13 ピーマンの月別卸売数量と卸売価格の推移



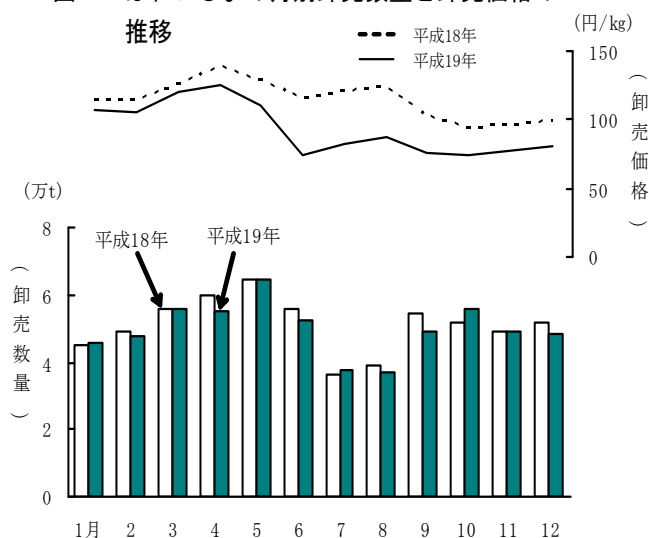
シ ばれいしょ（表４・６、図14参照）

卸売数量は77万 t で、前年に比べ 2 % 減少した。

これは、夏期の高温・乾燥の影響から生育が抑制され、8・9月の入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、1年間を通して安値で推移したことから、前年に比べ17%低下し94円となった。

図14 ばれいしょの月別卸売数量と卸売価格の推移



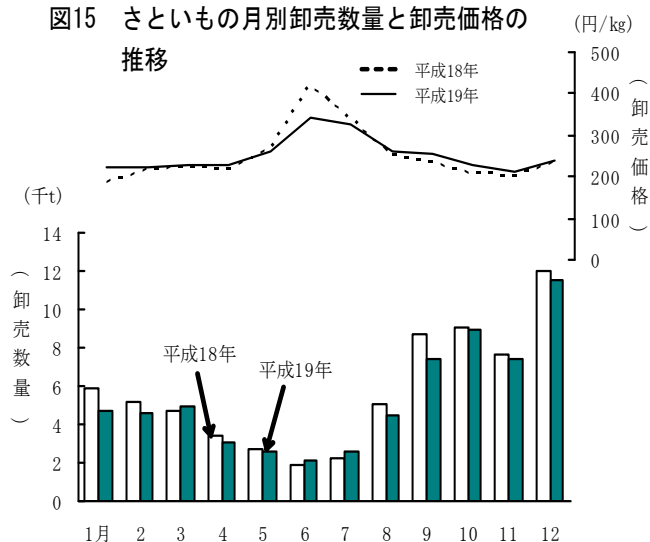
ス さといも（表４・６、図15参照）

卸売数量は9万tで、前年に比べ6％減少した。

これは、夏期の高温の影響で肥大が抑制されたことにより、年末に向けて入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、入荷量が減少したことなどから前年に比べ4％上昇し235円となった。

図15 さといもの月別卸売数量と卸売価格の推移



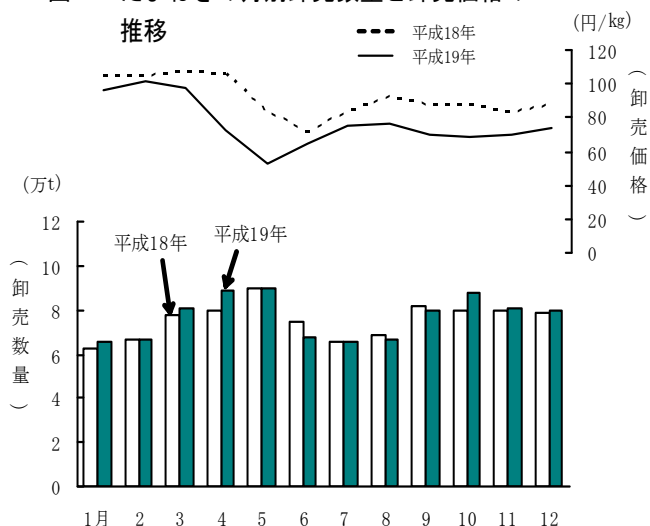
セ たまねぎ（表４・６、図16参照）

卸売数量は120万tで、前年に比べ1％増加した。

これは、北海道において規模拡大があり作付面積が増加したこと、天候に恵まれ入荷が安定していたことなどによる。

卸売価格は、入荷量が増加したことなどから、前年に比べ17％低下し75円となった。

図16 たまねぎの月別卸売数量と卸売価格の推移



(2) 果実

表 7 主要果実の卸売数量

区 分	卸 売 数 量 (万 t)			対 前 年 比 (%)		
	平. 17	18	19	平. 17	18	19
果 実 計	500	448	425	101	90	95
うち、						
み か ん	93	77	78	98	82	102
い よ か ん	13	10	9	107	78	90
り ん ご	64	69	67	101	107	97
日 本 な し	25	19	18	114	74	98
か も し き	21	17	16	121	80	97
も う も	13	10	10	119	80	98
ぶ い ち う	13	12	12	106	92	95
い ど ち ん	18	17	16	97	98	94
メ ロ ン	25	21	22	99	85	101
す い か	44	40	39	100	90	99
バ ナ ナ	73	67	55	101	91	82
グ レ ー プ フ ル ー ツ	15	12	14	78	79	122
オ レ ン ジ	9	9	6	99	101	68

表 8 主要果実の卸売価額

区 分	卸 売 価 額 (億円)			対 前 年 比 (%)		
	平. 17	18	19	平. 17	18	19
果 実 計	12 253	12 125	11 939	94	99	98
うち、						
み か ん	1 609	1 797	1 629	87	112	91
い よ か ん	200	147	175	102	74	119
り ん ご	1 549	1 586	1 616	98	102	102
日 本 な し	541	527	547	94	98	104
か も し き	339	393	369	78	116	94
も う も	451	457	424	95	101	93
ぶ い ち う	760	749	772	96	99	103
い ど ち ん	1 863	1 748	1 658	106	94	95
メ ロ ン	954	911	892	91	96	98
す い か	617	617	619	86	100	100
バ ナ ナ	814	778	755	90	96	97
グ レ ー プ フ ル ー ツ	212	209	233	76	99	111
オ レ ン ジ	164	186	158	101	114	85

表 9 主要果実の卸売価格

区 分	卸 売 価 格 (1kg当たり円)			対 前 年 比 (%)		
	平. 17	18	19	平. 17	18	19
果 実 計	245	271	281	94	111	104
うち、						
み か ん	172	235	208	89	137	89
い よ か ん	153	143	189	96	93	132
り ん ご	241	231	242	97	96	105
日 本 な し	214	281	298	83	131	106
か も し き	160	232	224	64	145	97
も う も	357	453	430	80	127	95
ぶ い ち う	567	606	658	90	107	109
い ど ち ん	1 052	1 007	1 022	109	96	101
メ ロ ン	378	424	412	92	112	97
す い か	140	156	157	87	111	101
バ ナ ナ	111	117	138	88	105	118
グ レ ー プ フ ル ー ツ	142	177	162	97	125	92
オ レ ン ジ	178	200	250	101	112	125

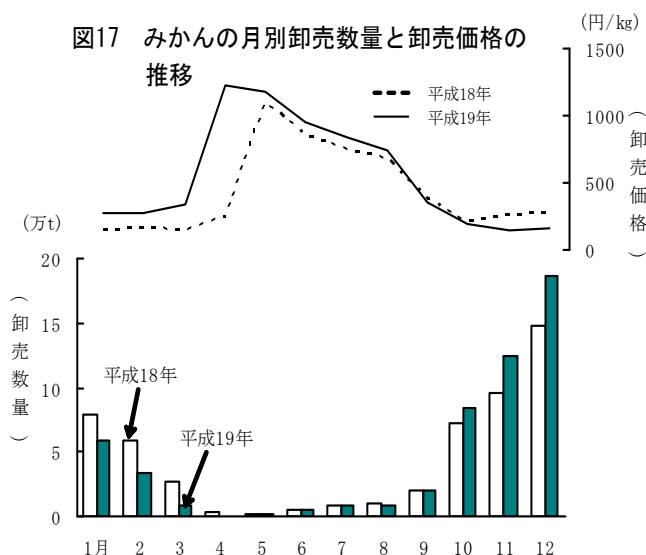
ア みかん（表 7・9、図17参照）

卸売数量は78万 t で、前年に比べ 2 % 増加した。

これは、8月の天候不順の影響で果実の肥大が抑制されたものの、裏年であった平成18年に比べ入荷量が増加したことなどによる。

卸売価格は、最盛期である11・12月に入荷量が増加し安値となったことなどから、前年に比べ11%低下し208円となった。

図17 みかんの月別卸売数量と卸売価格の推移



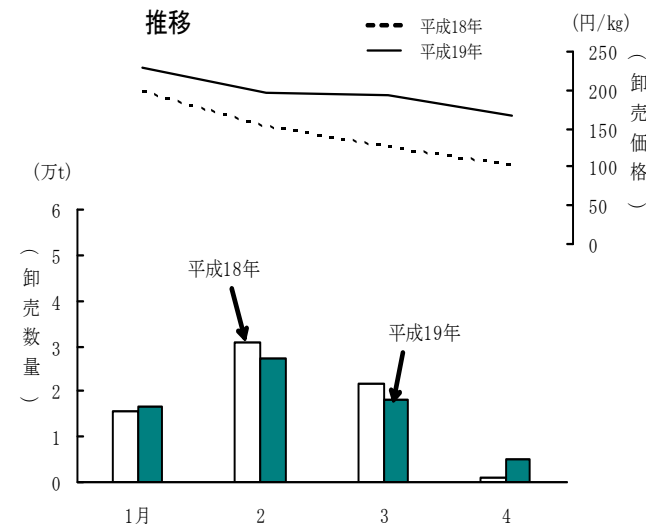
イ いよかん（表 7・9、図18参照）

卸売数量は9万 t で、前年に比べ10% 減少した。

これは、結果樹面積の減少により入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、入荷量が減少したことなどから、前年に比べ32%上昇し189円となった。

図18 いよかんの月別卸売数量と卸売価格の推移



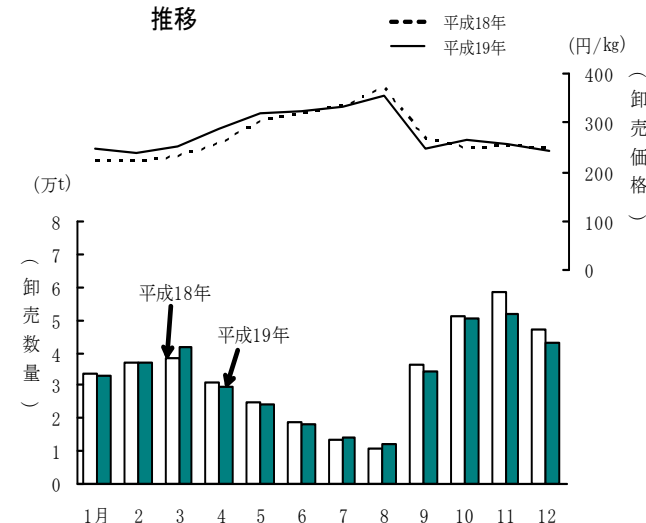
ウ りんご（表 7・9、図19参照）

卸売数量は67万 t で、前年に比べ 3 % 減少した。

これは、9月の台風による落果被害のため入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、入荷量が減少したことなどから、前年に比べ 5 % 上昇し242円となった。

図19 りんごの月別卸売数量と卸売価格の推移



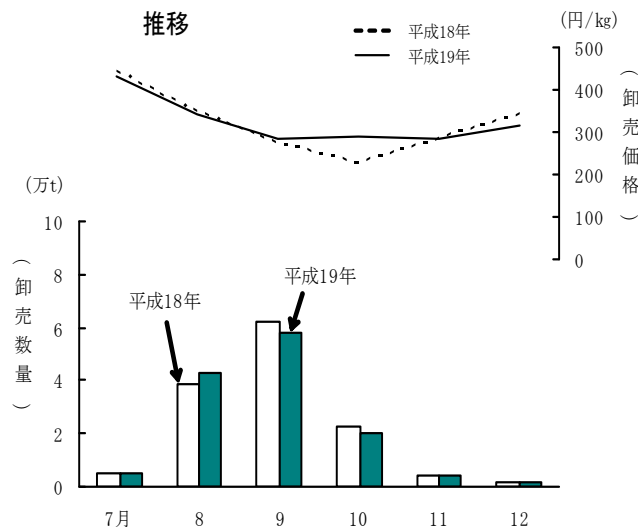
エ 日本なし（表 7・9、図20参照）

卸売数量は18万 t で、前年に比べ 2 % 減少した。

これは、結果樹面積の減少により、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、入荷量が減少したことなどから 9・10月に高値で推移し、前年に比べ 6 % 上昇し 298 円となった。

図20 日本なしの月別卸売数量と卸売価格の推移



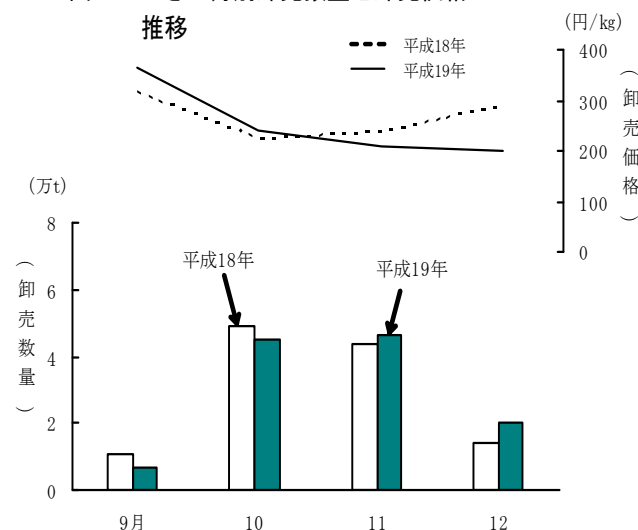
オ かき（表 7・9、図21参照）

卸売数量は16万 t で、前年に比べ 3 % 減少した。

これは、8月以降の天候不順の影響で果実の肥大が抑制されたことなどにより、9・10月の入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、入荷量の多かった11・12月に安値で推移したことなどから、前年に比べ 3 % 低下し 224 円となった。

図21 かきの月別卸売数量と卸売価格の推移



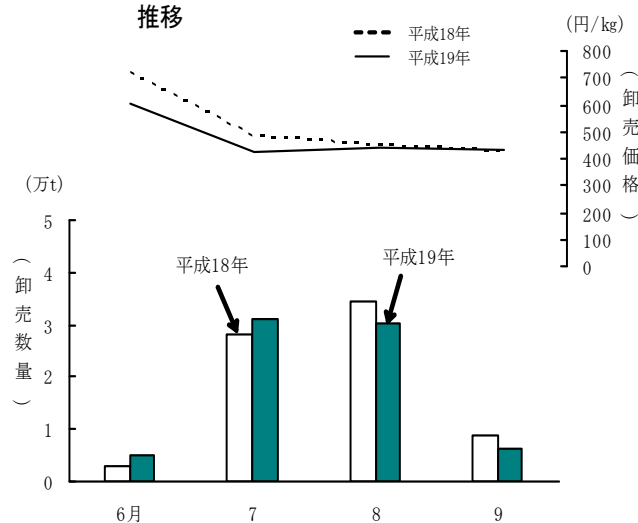
カ もも（表 7・9、図22参照）

卸売数量は10万 t で、前年に比べ 2 % 減少した。

これは、7月の低温・多雨の影響で結果数が少なくなったことから、8・9月の入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、入荷量の多かった6・7月に安値で推移したことなどから、前年に比べ 5 % 低下し 430 円となった。

図22 ももの月別卸売数量と卸売価格の推移



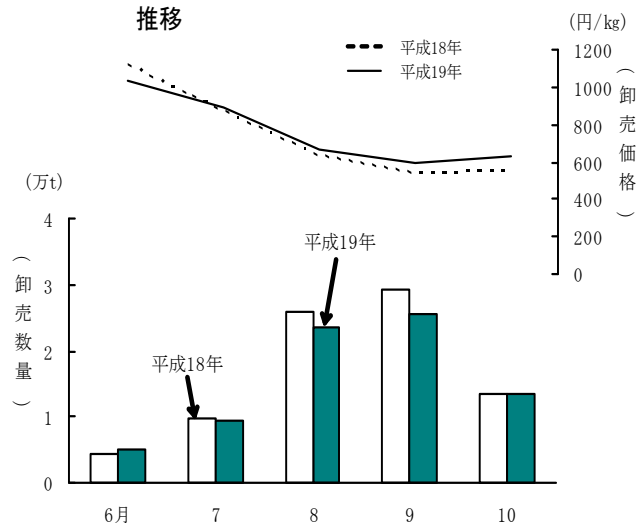
キ ぶどう（表 7・9、図23参照）

卸売数量は12万 t で、前年に比べ 5 % 減少した。

これは、7月の多雨により裂果等が発生し、入荷の最盛期である 8・9月の入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、入荷量が減少したことなどから、前年に比べ 9 % 上昇し 658 円となった。

図23 ぶどうの月別卸売数量と卸売価格の推移



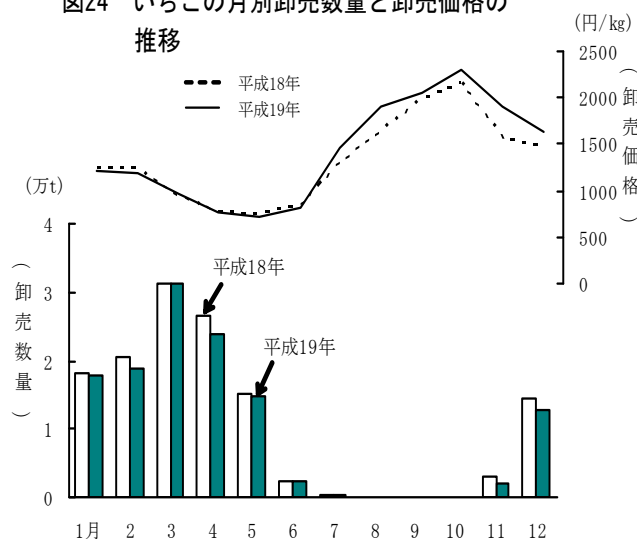
ク いちご（表 7・9、図24参照）

卸売数量は16万 t で、前年に比べ 6 % 減少した。

これは、作付面積の減少により、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、入荷量が減少したことなどから、前年に比べ 1 % 上昇し 1,022 円となった。

図24 いちごの月別卸売数量と卸売価格の推移



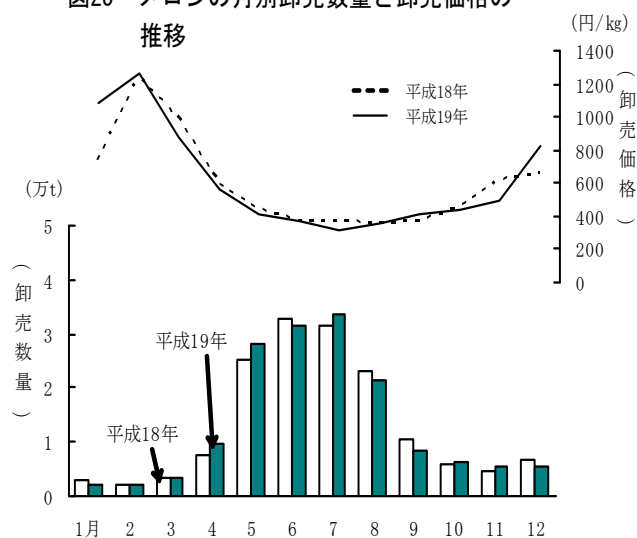
ケ メロン（表 7・9、図25参照）

卸売数量は22万 t で、前年に比べ 1 % 増加した。

これは、生育期間を通して比較的天候に恵まれたことから、入荷量が増加したことなどによる。

卸売価格は、最盛期の入荷が安定していたことなどからやや安値で推移し、前年に比べ 3 % 低下し 412 円となった。

図25 メロンの月別卸売数量と卸売価格の推移



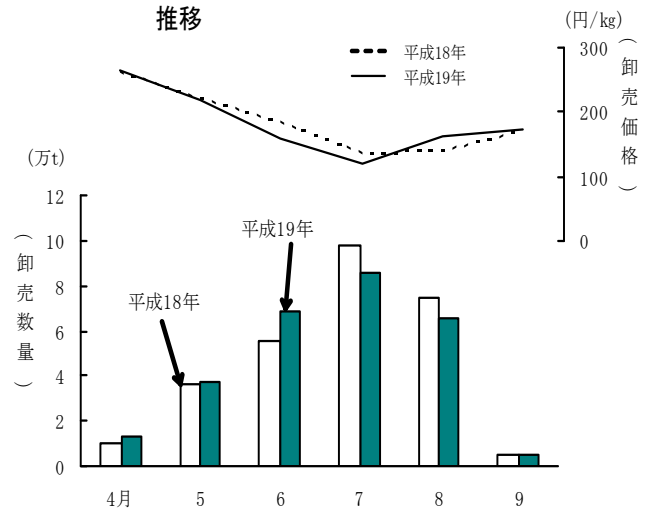
コ すいか（表 7・9、図26参照）

卸売数量は39万 t で、前年に比べ1 % 減少した。

これは、作付面積の減少により、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、8 月に入荷量が減少したこと及び猛暑の影響で需要が高かったことなどから高値となり、前年に比べ1 % 上昇し157円となった。

図26 すいかの月別卸売数量と卸売価格の推移



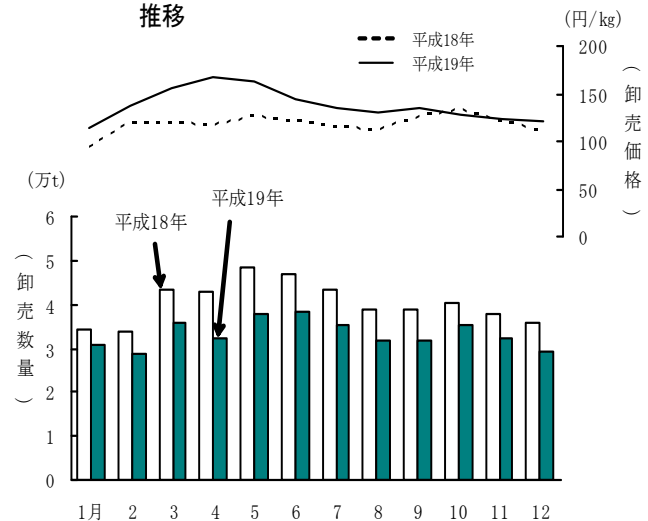
サ バナナ（表 7・9、図27参照）

卸売数量は55万 t で、前年に比べ18% 減少した。

これは、フィリピン産の輸入量が天候不順の影響から減少したことなどによる。

卸売価格は、輸入量が減少したことなどから、前年に比べ18%上昇し138円となった。

図27 バナナの月別卸売数量と卸売価格の推移



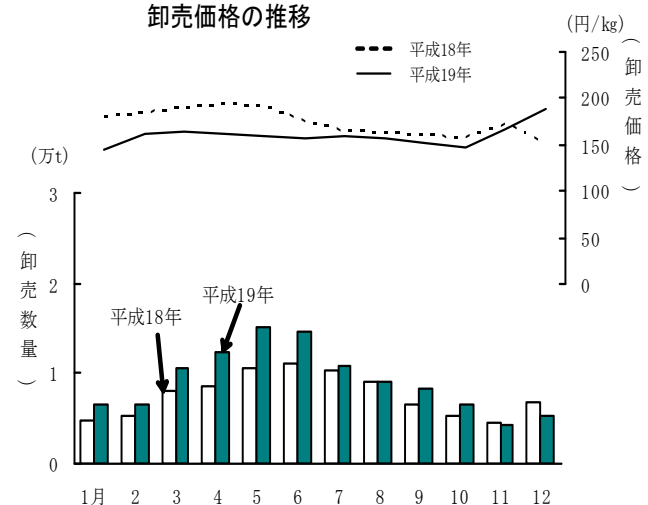
シ グレープフルーツ（表 7・9、図28参照）

卸売数量は14万 t で、前年に比べ22% 増加した。

これは、アメリカ（フロリダ）産が天候に恵まれ生育が順調であったことから輸入量が増加したことなどによる。

卸売価格は、輸入が安定していたことなどから安値で推移し、前年に比べ8 % 低下し162円となった。

図28 グレープフルーツの月別卸売数量と卸売価格の推移



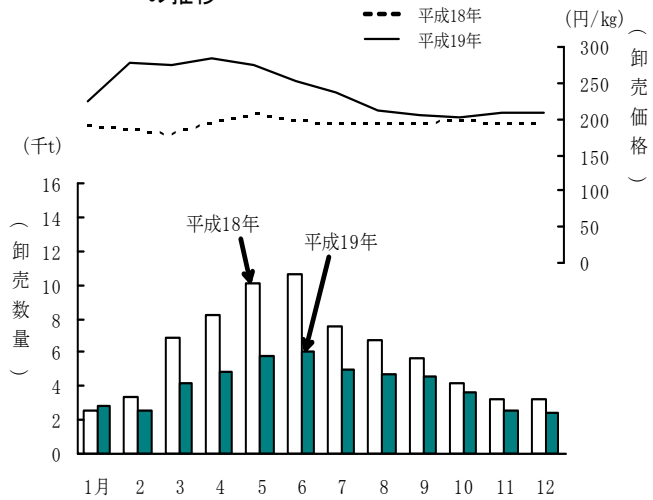
ス オレンジ（表 7・9、図29参照）

卸売数量は6万tで、前年に比べ32%減少した。

これは、アメリカ（カリフォルニア）産が寒波の影響による生育不良のため、輸入量が減少したことなどによる。

卸売価格は、輸入量が減少したことなどから、前年に比べ25%上昇し250円となった。

図29 オレンジの月別卸売数量と卸売価格の推移



参考 2 主な果実の輸入国と輸入数量割合（平成19年計）

品 目	上段：輸入国名 下段：数量割合（%）				
	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
バ ナ ナ	フィリピン 90.6	エクアドル 5.4	台 湾 1.9	ペ ル ー 0.8	メ キ シ コ 0.5
パイナップル	フィリピン 99.6	台 湾 0.3	中 国 0.1	タ イ 0.0	ア メ リ カ 0.0
レ モ ン	ア メ リ カ 61.4	チ リ 30.5	南 ア フ リ カ 4.4	ニュージーランド 2.2	アルゼンチン 0.6
グレープフルーツ	ア メ リ カ 65.2	南 ア フ リ カ 30.2	イ ス ラ エ ル 2.5	スワジランド 2.0	アルゼンチン 0.0
オ レ ン ジ	ア メ リ カ 54.2	オーストラリア 18.1	南 ア フ リ カ 12.0	イ ス ラ エ ル 9.0	チ リ 4.3
さ く ら ぼ	ア メ リ カ 99.2	チ リ 0.5	ニュージーランド 0.2	オーストラリア 0.1	
キウイフルーツ	ニュージーランド 96.2	チ リ 3.5	ア メ リ カ 0.2	中 国 0.1	
メ ロ ン	メ キ シ コ 70.5	ア メ リ カ 27.6	韓 国 1.3	中 国 0.3	ニュージーランド 0.3

資料：財務省「貿易統計」